

産褥期看護における看護過程の展開

—産褥看護記録の検討—

2階西病棟 分娩育児部

○中屋 桂子・下村 愛子・森本 雅子

柴本 純子・山本真由美・井上 美和

武政 香弥・谷脇 文子

I はじめに

産褥期看護は、褥婦自身が著しい身体的変化を理解し、セルフケアができ、育児の基本的知識、技術が習得できるよう援助する必要があるが、その根底に母と子の関係や家庭における母の持つ意義といった母性意識の促進や母親役割行動の発展がなければ、産褥期の看護が成功するとは考え難い。短期間の入院中にこそ、私達の援助のあり方が問われるといえる。当院では、産褥期看護の記録について、チェック方式と経時的記録を併用している。しかし、この記録用紙では、問題解決の援助過程の記録が不十分であった(資料1)。

そこで、今回、私達は、褥婦のニードを明確にし、行った援助が適切であったかどうかを評価できるように、看護過程の展開にそって記録できる看護記録用紙(以下、試案用紙と略す)を検討し、試用したのでここに報告する。

II 研究対象、方法について

平成3年5月1日～6月30日、当院において出産した褥婦35名(死産例を除く)を対象に資料2に示したごとく、

方法1、試案用紙に受け持ちスタッフが出産直後から記載し、毎日カンファレンスにより援助過程について評価修正を行った。試案用紙はカードックスにはさみ、援助行為について申し送りをした。

方法2、赤ちゃんメモの活用

褥婦が不安や疑問、感じた事等を自分の言葉で表現できる用紙を用意した。分娩当日に褥婦に渡し、児との初回授乳の接触時点から記載してもらい、スタッフが質問に答えたり返事等を記載した(資料3)。

方法3、試案用紙を用いた結果について、スタッフへのアンケート調査を行う。1)記載

の実際はどうであったか、 2) 看護過程を記載するものとして適切であったかどうか、 3) 申し送り時の活用状況、 4) 試案用紙の改善すべき点の内容で行った。

Ⅲ 結 果

試案用紙を用いた結果は、次の通りであった。情報収集は、受け持ったスタッフがアセスメントし、さらにカンファレンスを行うことで問題点の認識を深めた。又、赤ちゃんメモから得た情報「夜泣き、母乳が出ない」は、褥婦が直面する問題、不安、感情など心理的側面を知ることができ、アセスメントする際に参考となった。

資料4は、試案用紙試用例35名について、産褥日数別に褥婦の問題点の変化を分類したものである。問題は、全部で86項目あり、産褥4日目が最も多かった。内容は、①乳房に関すること、②育児・児に関すること、③疲労などの身体的な事の順となっていた。又、問題点の内容の約6割は、初産婦が占め退院時においても、母乳栄養が確立していない、退院後の育児になんとか不安がある等の問題があった。

カンファレンスでは、情報の分析とともに計画の修正、評価を行った。これにより、スタッフの対象への関心を強め、問題点の早期発見につながった。又、試案用紙をカードックスにはさむことで、援助行為の計画を周知させ、一貫性を持つことができた。

試案用紙の試用に関するスタッフへのアンケート調査結果は次の通りであった。全員が看護過程の展開の記載に役立つが、スタッフ間での記録の表現など統一性がなく書きづらかった。問題が複数ある場合は、経時的な経過がわかりにくい。退院時に残された問題がある場合、アフターケアを含めた記載ができていない。分娩前からの記載が必要である。などの意見があった。

Ⅳ 考 察

褥婦の問題を診断することについて、情報の分析、統合で、青木ら¹⁾は、「褥婦の生理的側面については、判断基準となるデータは多くあり、分析、統合しやすいが、心理的側面や行動に関しては普遍化されたデータが少ない。助産婦自身の親に対する考え方や子ども観、性意識などが影響しやすい。」と、述べている。

褥婦の問題については、先に結果で述べたように、35例について86項目の問題があり、一人として問題のない症例はなかった。産褥の生理的経過がたとえ正常であっても、母性の育成や母親役割行動などについては、情報収集のあり方が問われる一方、問題の診断は容易で

ないと自覚させられた。又、問題点については、褥婦の訴えから、これが派生された問題なのか、中心にあるものは何かという認識の必要性も感じさせられた。

V おわりに

今回の試用により、情報収集、アセスメントから評価まで一連の系統的経過を記録することは、看護の展開においていかに大切であるかを認識した。又、チーム間での連携を密にし、問題解決のための看護計画を周知させ、ケアの一貫性と問題点の早期発見に役立った。さらに、褥婦のもつ問題の傾向を知ることができた。今後は、当院の産褥期看護基準を見直し、心理的側面からも産褥期診断が査定できるような基準をもち、母性意識の促進や、母親役割行動に関する研究をすすめ、次回に望みたい。そして、従来の産褥期記録用紙に検討を加え看護過程の展開が記載できるものにしていきたい。

引用・参考文献

- 1) 青木康子他：助産学体系 4, 助産診断学, 産褥期の診断, p.121, 日本看護協会出版会, 1991.
- 2) 訳・新道幸恵, 三浦育子：看護診断にもとづく, 母性看護ケアプラン, 医学書院, 1988.
- 3) 横尾京子・訳：母性・新生児のケア計画, HBJ 出版局, 1990.
- 4) ドロアーズE. リトル, ドリスL. カーニヴァリ著：看護計画の技術, 臨床看護の展開, 現代社, 1980.
- 5) 江本愛子・監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断, 医学書院, 1989.

【資料1】

産 褥 記 録 （ 従 来 の 記 録 ）

月日(入院日数)	月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			
産褥日数										
時 刻										
子宮収縮	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	
子 宮 底										
後 陣 痛	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +	
悪露	性 状	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄	赤 褐 黄
	量	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少	多 中 少
	臭 気	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅
乳 房	緊 満	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅
	痛	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅
	乳 汁	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成	初 移 成
	分 泌	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良	良 不良
乳管開通										
乳房マッサージ										
乳 嘴	亀 裂	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +	- +
	痛	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅	- + 卅
外 陰 部										
保健指導										
経 過 記 録										

【資料2】

氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 年齢 29 経 分娩月日 6月3日

⑮ 深夜 ⑯ 日勤 ⑰ 準夜 を表す

産褥日数	問 題 点	計 画	実 施	結 果	評 価
産 3 日 褥 目	<p>1. 乳房の緊満により気になる程度の痛みがある ① 乳房の手当ては妊娠中から行っていないが、母乳栄養への意欲が強い</p> <p>2. 夜の泣きのため疲労が強い ① 睡眠が断続的にしかとれず疲れた顔をしている ② 母児同室開始により育児への緊張もみられるが質問は少ない</p>	<p>1) 乳房の自己ケアができるよう援助する 2) 乳房マッサージ、乳管開口を促す 3) 乳房の皮膚状態をチェックする 4) 発熱の有無をチェックする(3検)</p> <p>2. 夜間の授乳(1° 4°)は休み、BabyはNICUにあずけ6時間以上つづけて睡眠がとれるようになる</p>	<p>① 乳房マッサージ施行1回母乳分泌量40g(平均)1日母乳量200cc以上分泌良好となる</p> <p>① Babyは夜間NICUにあずかってもらう予定であったが、本人、「頑張ってみる。赤ちゃんは側においておきたい」という申し入れをきき入れることとした</p>	<p>① 日勤で2回の乳房マッサージ施行で乳管開口の本数6本程度みられるようになる</p> <p>① 発熱や痛みの増強はみられない</p> <p>① 児とともに過ごすことが苦痛という言葉はきかれぬ授乳の間に寝ている</p>	<p>自己ケアは大分できるようになってきており母乳栄養もほぼ確立できている 皮膚トラブルもおこしていない</p>
産 4 日 褥 目			<p>1-① 乳房マッサージ施行, 自己搾乳指導</p>	<p>1-① 直母60-80g/回乳汁分泌良好 2-② 母児同室は希望で続行したが疲労増強の様子みられず赤ちゃんもよくねていたり話していたり母乳量も十分となり添い寝をするなどによりBabyの夜泣きは少なくな</p>	<p>① 母乳栄養確立 1日母乳分泌量400cc以上となる 2-① 母乳分泌量の増加とともに児の吸乳も良好となり児とともに過ごすことを喜んでい 2-① Babyと一緒にいることにもなれ児との生活パターンをつくりつつある</p>

【資料3】

ちゃんの名

御出産おめでとうございます

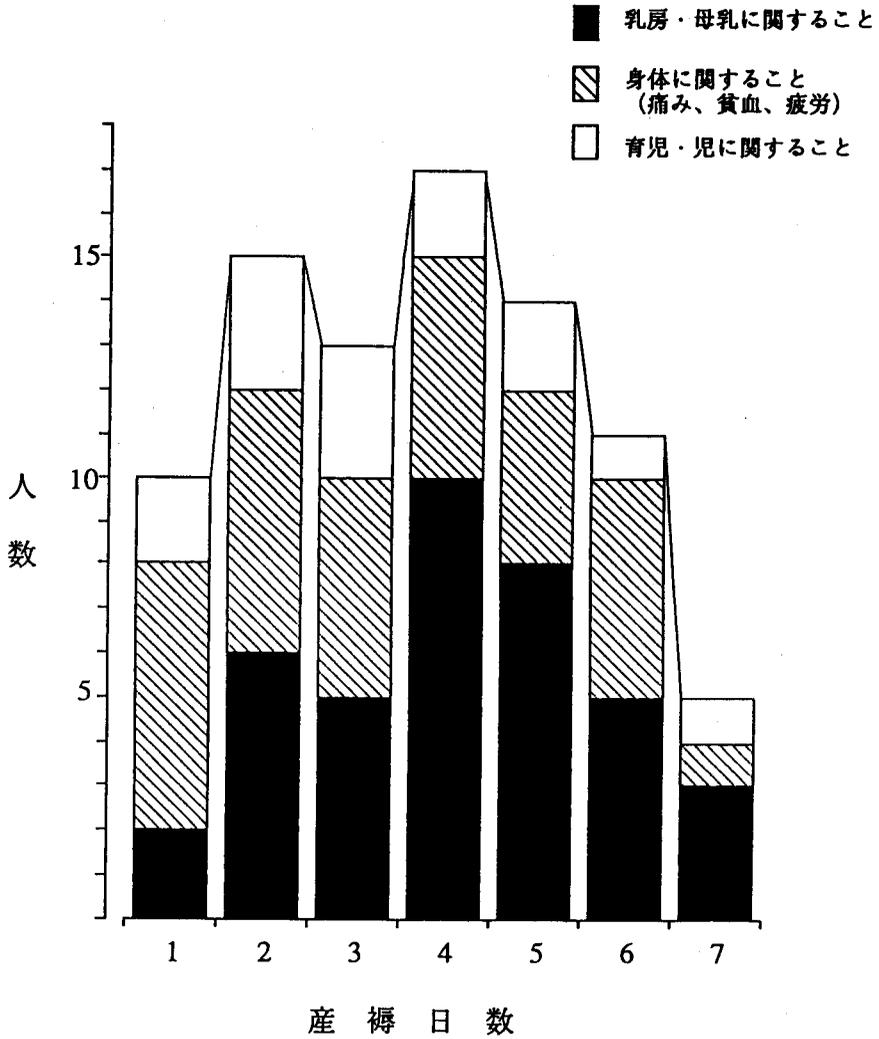
母氏名

出生年月日

月日	時間	栄 養				尿	便	体 重	お母さんの身体の事や赤ちゃんの事で心配な事、困った事があれば、何でもお書き下さい。
		直接母乳	搾母乳	ぶどう糖	ミルク				
5/25	16:00	12	10	20		—	T	2,860g	
	19:00	6	10	30		—	—		
	22:00	6	10	30		—	—		
5/26	1:00	6	12	30		—	—	2,864g	<p>○黄だんは病室に来てても定期的にチェックはしてもらえますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 黄疸の検査はしています。治療も済んでいますので、安心して下さい。</p> <p>看護婦が訪室した時には、赤ちゃんの皮膚の色や、おっぱいの飲み方や、元気か……必ずみていますヨ!!</p>
	4:30	4	16	25		—	T		
	7:30	8	10	40		—	—		
	10:00	14	5	40		—	—		
	14:00	18	20	20		—	—		
	15:30	16	20	20		—	—		
	19:00	20	10	30		—	—		
	22:00	18	15	30		—	—		
5/27	2:00	20	15	30		—	—	2,896g	<p>○右乳頭から出血がありました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> おっぱいがでるようになりましたね。右のおっぱいは搾って下さい。今は左側だけ、直接母乳をしましょう。</p>
	5:00	34	10	30		—	—		
	8:00	32	20	20		—	—		
	9:30					—	—		
	10:00	28	30	10		—	—		
	14:00	38	30			—	—		
	17:30	22	40			—	—		
	20:00	28	20	20		—	—		
	23:30	26	30	20		—	—		
5/28	3:30	36	30			—	—	2,940g	<p><input checked="" type="checkbox"/> 夜も良く眠っていますね。お母さんもぐっすり……授乳、赤ちゃんのお世話って本当に大変で疲れる、お母さん頑張ってください。</p>
	7:00	23	40			—	—		
	10:00					—	—		

【資料4】

産褥日数における褥婦の問題点の変化



(平成3年9月13日、茨城で開催の第32回日本母性衛生学会で発表)